

現在、中国は世界第2位のエネルギー消費大国であり、省エネは中国の社会経済全体の発展に関わる重要な戦略課題となっています。統計によると、2013年における中国の病院建物としてのエネルギー消費量は、石炭に換算すると2,860万トン相当であり、すべての公共建物の平均エネルギー消費量の2倍以上になっています。

国の年次財務データによると、2009年から2013年まで、全国の病院の光熱費のコストは979.78億元、5年間で約53%上昇しています。なお、医療技術のレベルは向上し続ける一方、医療機関の規模拡大に伴い病院のエネルギー消費量は増加傾向にあると予想されています。

### グリーンヘルスケアサービスシステム<sup>1</sup> 構築とグリーンホスピタル建築<sup>2</sup>の提唱

深刻なエネルギー消費問題に対処するため、中国政府はグリーンヘルスケアサービスシステムの構築を推進しています。2006年、中国初のグリーンビルディングの総合的な評価標準「グリーンビルディング評価標準」を中国建設部と品質監督総局が共同で公表しました。続いて、2011年8月、グリーンホスピタル建築評価の技術基準として、中国都市科学研究会グリーンビルディング委員会は「グリーンホスピタル建築の評価基準<sup>3</sup>」を発表しました。

2013年1月、国務院が提案した「グリーンビルディング行動計画」により、2014年以降政府が投資した機関、病院、学校などすべての建物はグリーンビルディング基準に従うことになります。2014年6月、国の評価基準としての「グリーンホスピタル建築評価基準<sup>4</sup>」を中国衛生部主編し、宅都市農村建設部を承認され、審査を完了。近い将来、実施の予定です。

上記のように、国家レベルの政策実施は、グリーンヘルスケアシステム構築の推進に非常に重要な役割を果たしてきました。更に、グリーンヘルスケアシステムを促進することはコスト削減、環境改善と同時に、関連産業の発展、国内需要を刺激することも期待されています。

---

<sup>1</sup> グリーンヘルスケアサービスシステム：環境に配慮した、省エネルギーのヘルスケアサービスシステム

<sup>2</sup> グリーンホスピタル建築：建物のライフサイクルには、資源（エネルギー、土地、水、材料）を保全し、環境保護と汚染削減すると同時に、健康的、適切、効率的、自然と調和した空間を提供する病院建築

<sup>3</sup> Assessment Standard for Healthcare Green Building  
<http://www.chinagb.net/chinagbc/inform/download/1319101170546.pdf>

<sup>4</sup> 绿色医院建筑评价标准 Evaluation standard for green hospital building  
<http://www.nhfpc.gov.cn/zhuzhan/xzq/201311/faaca3509bcd40ee81c1899202c5ec63.shtml>

## 海外グリーンヘルスケアサービスシステムに関する研究と視察状況

中国政府や研究機関は、海外諸国のグリーンヘルスケアサービスシステムの政策や経験を研究し、中国におけるグリーンホスピタル建築評価基準の参考にするため、積極的に海外と接触しています。

2015年5月21日（木）、国家衛生計生委員会（衛生部）衛生発展研究センターによって、中国北京西苑飯店鴻運6号庁で『第1回・中国グリーンヘルスケアサービスシステム発展戦略研究と推進シンポジウム』が開催されました。

日本におけるグリーンホスピタルの専門家として日建設計楊熹微氏（プロジェクトディレクター、日本一級建築士、工学博士）と私が招聘されて、講演しました。当日は、中国病院建設界をリードする方々の講演の他、当日集まった病院建設関係者との意見交換もでき、貴重な時間を過ごすことができました。

今回のシンポジウムは衛生部病院建設管理部門の官僚をはじめとして、医療政策担当者や建築研究者、各省衛生庁の官僚や医療管理者等計70人が参加し、中国における医療グリーン化について、改めて関心の高さを実感しました。

プログラムは第1部・第2部に分かれており、第1部では主に中国と諸外国における、グリーンヘルスケアサービスシステム構築の発展や現状についての紹介とディスカッション、第2部ではグリーンホスピタルとグリーン購入の事例についてのプレゼンテーションが行われました。

特に第1部のプレゼンターの顔ぶれは豪華で、プログラムと主な発表者（一部抜粋）は以下の通り。

（シンポジウム会場の様子）



（劉 宣秀 発表の様子）



（楊熹微氏 発表の様子）



時間	内容	発表者
9:00-9:30	シンポジウムオープニングスピーチ	
	国家衛生計生委員会（衛生部） 衛生発展研究センター	李滔
	国家衛生計生委員会（衛生部）規化信息司 副巡視員	王玉洵
	国家発展改革委員会 社会司 調研員	周和宇
	英国大使館 一等秘書	Lottie Murphy 楽天
<b>第1部：グリーンホスピタル社会的、経済的な利益</b>		
9:30-10:10	グリーンヘルスケアサービスシステム・衛生事業グリーン化の推進と発展 衛生発展研究センター	苗艶青
10:10-10:30	コーヒーブレイク	
10:30-11:10	中国と海外グリーンホスピタルの発展 中国建築科学研究院環能院	徐偉

11:10-12:00	ディスカッション	
12:00-14:00	ランチブレイク	
<b>第1部：グリーンホスピタル発展の要素</b>		
14:00-14:30	日本のグリーンホスピタルとグリーン購入の事例紹介 システム環境研究所 足利赤十字病院の省エネ設計の事例紹介 日建設計	劉 宣秀 楊熹微
14:30-15:00	医薬品のグリーン購入の事例紹介 華拓医薬科技發展有限公司	徐力軍
15:00-15:30	グリーンヘルスケアサービスシステムと遠隔診断の紹介 衛生發展研究センター	程龍
15:30-15:50	コーヒーブレイク	
15:50-16:20	インテルスマートエネルギー戦略とプログラムの事例紹介 インテル中国有限公司	王 宇
16:20-16:50	ディスカッション	

### 講演終了後、様々な関係者との意見交換

講演終了後には親睦会の場も設けられており、様々な方々と名刺交換をさせて頂きましたが、病院建設管理に携わる政府の官僚、研究機関、事業会社/医療機関の方々より、今後、積極的に海外の先進国におけるグリーンホスピタルやグリーン購入についての制度や評価基準を参考にし、中国におけるグリーンヘルスケアサービスシステムの構築、中国における病院建築のグリーン化、国としての基準や政策の策定、「十三五」計画（第13次五カ年計画）（2016～2020年）を取り入れるべきと考える政府と研究機関の方などが数多く参加されているといった印象でした。

午前中、中国建築科学研究院環能院の徐力軍院長は海外のグリーンホスピタルの発展に関するプレゼンテーションの際、日本のCASBEEを紹介しました。午後、日建設計の楊熹微氏は足利赤十字病院の省エネ設計を事例として、CASBEEの評価基準や日本のエコ病院設計技術について分かりやすく説明し、良い印象でした。また、参加者のコメントから省エネ技術や設備についての関心の高まりを肌で感じました。

衛生發展研究センターの苗先生は、今回のシンポジウムで、日本のグリーンホスピタルとグリーン購入に対して評価され、次回9月に開催の予定は、今回より規模が大きく、参加者特に病院の管理者が多くなると予測されます。また日本の専門家を招聘したい意向です。最後は、日本のグリーンホスピタルについてもっと理解するために日本に視察に行くべきとの意見もありました。

日本の環境と人にやさしい理念に基づく CASBEE とグリーン購入制度、省エネ設計技術や設備等は、中国におけるニーズの高まりを改めて実感できた貴重な 1 日となりました。